

ルクセンブルグ・フランス旅行中 川沿いのスケッチ（2016 年 9～10 月と 2019 年 6 月）

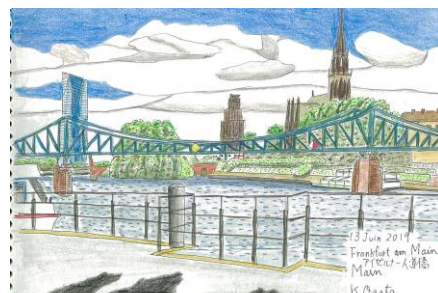
スケッチ下部の赤字： **2 3 4** は展示する月



4 ナント郊外 エルドル川の泊地
ナントから電車で 20 分のリゾート



3 ナント市内のロワール川岸壁と軍艦
トラム駅から この後スクールが来た



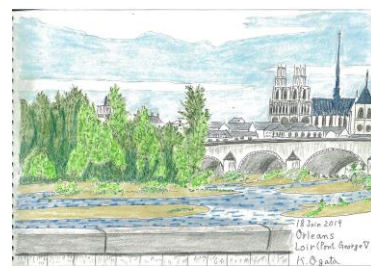
2 マイン川沿いの遊歩道から橋や教会
トラム駅から 物乞いが多い場所だった



3 ストラスブール ライン川対岸はドイツ
トラムで ドイツ側から橋を歩いた



4 モレのロワン川運河と川船
レンタサイクルで 水門脇の草地から



2 オルレアン ロワール川の橋と大聖堂
トラム駅下車 川沿いの遊歩道から

【コラム】フランスの原発立地とトラムの線路敷き

フランスは電力の原発依存度が70%と高く、その多くが川沿い立地で昨年 6 月の旅行ルートでは、ルクセンブルグに近いモーゼル川の「カットノン原発」とパリから南東へ 100 ㎞の「ノジャン原発」=パリから最も近い原発 の大きな排気筒から冷却用の水蒸気が大量に出ているのが電車・バスや町中からよく見えました。

パリやストラスブール、ルーアンなどの大／中都市で次々とトラム(路面電車)が設置され、多くが 3 両～7 両で運転しています。トラムの線路敷きは元は車が通る市内中心部の道路の中央部-2 車線分です。この国ではビジョンとして「公共交通機関優先」が定着し、車が通る車線を減少させ→トラムの線路敷きに転換 に異論はないようです。定期券利用者への割引率アップもあるため、トラムの乗車率は高く、ガラガラということは一度もありませんでした。

歌舞伎の舞台スケッチ（今まで観た舞台から）



2 義経千本桜：吉野山の場合
左：佐藤忠信、右：静御前の主従



3 恋女房染分手綱：重の井子別れ
左：馬子-三吉、右：重の井の親子



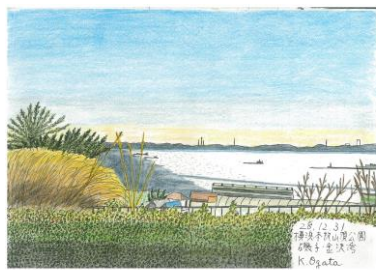
4 一ノ谷ふたば軍記：須磨浦の場合
左：小次郎、右：熊谷次郎の親子

歌舞伎の舞台は長い伝統の中で、どの場合も絵画性が高く作られています。(屋外の背景：書割を自然風景とした)

海のスケッチ(海が好きなので枚数が多い 相模湾は良い場所が多い)



328.12.29 神奈川三浦黒崎の鼻
風が強く北を向けないので南側を



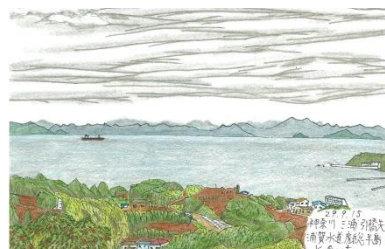
428.12.31 横浜本牧から磯子湾
本牧山頂から 下の海面が輝やく



229.1.12 葉山森戸神社 相模湾・富士山
初詣を兼ねた 海辺の快晴スケッチ



329.3.3 三浦小網代湾
油壺より漁港的で静かな湾



229.9.15 三浦引橋先 浦賀水道
高台のワイドな眺め 房総も見える



329.9.26 茨城ひたちなか磯崎海岸
旧石器時代の地層が残る海岸



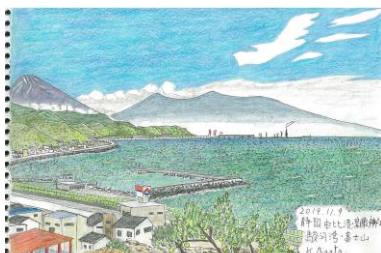
431.3.27 神奈川鎌倉稲村ヶ崎
江ノ電下車すぐ 砂浜に寄せ波



4R1.10.23 真鶴ゆめ公園 相模湾
高台から 西の海面が輝やく



2R1.11.4 三浦黒崎の鼻 荒崎
北側近くに荒崎を見る特有の場所



3R1.11.9 静岡由比 駿河湾・富士山
広重が描いたさった岬に近い神社から



3R1.12.14 静岡川奈 相模湾・富士山
川奈岬先端から東側のワイドな眺め



4R1.11.24 二宮羽根尾 相模湾・房総
高台の貝塚跡から南側の景色

遠くまで見通しのきく海辺や高台からは、街中になく爽快感で広がりのある海の景観が見えます。また海面は日差しにより輝き、風の通り道には特有の色模様やちりめんしわができます。空のブルーは水平線近くでは薄く、上空では濃くなり、雲は風の強さや空気の乾燥／湿気を反映して季節ごとの形があり、雲がない快晴の空は季節感がない感じです。その日の陸地の色と海の色 比べてどちらが濃いか薄いかは、その日ごとの特徴を現わしているので、それを見逃さず注目して風景を描くのは重要な観察ポイントの一つです。